

20 修景施業についての一考察

— 植樹祭実施の結果から —

岩手営林署 ○ 高見 博子
田村 光男
高村 満

1 はじめに

岩手営林署管内の森林現況は人工林が46%、天然林が54%である。

人工林の樹種構成はアカマツとカラマツが83%を占めており、齡級は生育途上のIV~VI齡級が45%である。

一方、天然林の大部分は国立公園・レクの森等に指定され、自然景観の維持・国土保全・森林空間利用等の機能が求められており、積極的な森林施業になじまない林分である。

このようなことから、今後、我が署の森林づくりは、生育途上の林分育成と天然林の保全が大きなウエイトを占めるものと思われる。

また、岩手県を代表する観光地、八幡平・岩手山・安比を管内に持つ我が署では、生育途上の人工林のうちレクの森等に含まれる林分、比較的入込み者の多い林地で一斉林に近い過密な林分を、風致・景観の向上のための修景施業を実施することも重要であると考えます。

これらの森林は、国民に憩とやすらぎの場を提供するだけでなく、森林・林業への理解を深め国民参加の森林づくりへつなげるものと思うからである。

このような状況変化にともない、我が署では植樹祭を従来からの資源造成型から国土保全や風致・景観向上を目的として企画し実施してきました。

今回は風致・景観向上を目的とした植樹祭の企画と実施結果を紹介し、修景施業について多少の考察と提言を試みてみました。

2 風致・景観向上を目的とした施業の考え方と植樹祭実施の概要

(1) 風致・景観の向上を図ることが必要な林分

ア 場所 レクの森等の歩道沿い、休憩地点、展望地点の周辺、林内自由活動区域、車道沿い等。

イ 過密な幼齡人工林、一斉林に近い過密な林分。

(2) 修景施業の基本的考え方

ア 現存林分を整理伐し、明るく風致に富む林分とすることを基本とする。

イ 現存樹種のみで目的の達成が困難な林分は強めの整理伐をし、新規樹種を導入する。

ウ 新規樹種導入に当っては

(ア) 現存樹種とマッチする郷土樹種であること。

(イ) 導入する樹種の要素としては、木の姿、新緑、紅葉、花、木の実等の美しさを考慮し、さらに香り、野鳥・蝶類の食餌等をも加味し、また時季、箇所を考えて組合せ、森林美、樹木美を発揮できるようにする。

(エ) 林内を広く明るい状態にしておくことが林内活動ができ、快適な森林というイメージを与えることを特に考慮し整理伐をする。

(表-1~2) 参照

(3) 風致・景観の向上を目的とした植樹祭の実施状況

ア 平成3年度

(ア) 実施場所 西根町上坊山国有林521林班と2小班
(焼走り自然観察教育林内)

(写真-1) かん木を整理伐した跡地への植樹状況



(イ) 実施前の状況

焼走り溶岩流を目の前にした、宮沢賢治の歌碑がある周囲の森林で、アカマツ87年生の天然林。下層はかん木が密生し周囲に暗い雰囲気を与えていた。

(ウ) ねらい

かん木を整理伐し見とおしを良くし、明るい環境にする。
併せて下層には自生のカエデ類の他、春の花を楽しむヤマツツジ、秋の紅葉・木の実、また野鳥のためのナナカマド、夏のアゲハ蝶のためのサンショウを植樹した。

(エ) その他

冬季を除けば常時入込み者数が多い箇所である。

イ 平成4年度

- (7) 実施場所 岩手町 子抱国有林20林班を1小班
(子抱風景林内)

(写真-2) 整理伐後の林内状況



(イ) 実施前の状況

市街地に接している風景林内のアカマツ天然下種更新地で、足を踏み入れるのもためられるほど過密な林分であった。

(ウ) ねらい

過密が原因で被害が出始めているアカマツとかん木を整理伐し、オオヤマザクラ、カエデ類、ヤマツツジを混植し地域住民の憩とやすらぎの出来る林分に仕立てる。

春の花見、秋の紅葉狩等。

(エ) その他

市街地の眺望がよく、町の施設として東屋と遊歩道が設置されているが、林内は薄暗く身近な風景林にもかかわらず入込み者が少なかった。

3 結果について

(1) 修景施業として

ア 結果はすぐには現れないが、意図した目的は充分期待出来る。

イ どちらも林分の空間を利用したが、もう少し思いきった空間を取っても良かった。(写真-2)参照

ウ アカマツ林に混植する樹種としては適当であった。

(2) 植樹祭参加者の反応

ア 実施場所、植栽樹種とも大変好評であった。

イ 地元役場関係者からは大きな感謝の意が寄せられた。

ウ マスコミにも注目され、平成3年度には「岩手日報」と「めんこいテレビ」から、平成4年度は「岩手日報」からの取材・報道があった。(新聞記事-1~2)参照

エ 森林愛護少年団の参加者からも大変良い思い出ができたと感謝の意が寄せられた。

4 考 察

(1) 修景施業について

ア 美しい森林・快適な森林は主観的な面もありますが、空間の取りかた、より効果的な樹種の組合せ等修景施業のマニュアル・事例集を作成する必要がある。

イ 署に於いてはそれに基づき具体的場所毎の修景目標を作成する必要がある。

ウ 現存樹種と他樹種の組合せでは、場合によっては庭園的発想を取入れても良いのではないか。

(2) 修景施業の実施について

ア 身近な緑づくりであるので住民参加の方向で実施し、開かれた国有林をアピールしていく。

イ 住民参加の方法として考えられるもの

(ア) 営林署主催の植樹祭に一般公募の参加者を募る。

(イ) 修景植栽の場所を一般に記念植樹、体験植樹の場として提供する。

(例) 団体・グループの記念植樹。

個人の誕生・結婚・就職・入学記念植樹。

企業の創立記念など記念植樹。

地元学校の記念・体験植樹。

修学旅行の記念植樹。(旅行記念)

都市住民の記念植樹。(旅行記念)

5 最後に

この2回の植樹祭の実施を通じ過密天然林、過密人工幼齡林もすこしの人手と工夫を加えることにより、より快適で美しい森林に整備できることが確認された。

また、余暇の増大とともに国民は自然志向的になり、快適で美しい森林環境を求める傾向があります。

快適で美しい森林に修景すべき林地は、我が署に多くあります。また国有林は複層林・広葉樹天然林施業等の技術や長年のデータの蓄積もあります。

これらを活かし必要な修景施業を行なうとともに、その技術を広く普及することも必要と思われまます。

快適で美しい森林づくりと林業とは両立し得るものであり、広くとらえれば林業技術の中でとりくむべきではないでしょうか。

私たちはとかく新しいことを試みる時の不安から石橋をたたいても渡らないことが多かったと思います。

皆で考えれば知恵は泉のごとく湧いてくると思います。

新たなことを成し遂げるには苦勞もありますが、だからこそ出来上がった時の喜びも大きいのではないのでしょうか。

私たちは次の時代へ木材生産のための山づくりをしている訳ですが、美しく快適な森林も引継ぐ必要があると感じました。

(表-1) 風致上の組合せ樹種の一例

現存樹種	風 致 上 有 効 な 組 合 せ 樹 種
アカマツ	カエデ類・ツツジ類・ヤマザクラ
スギ	林縁にケヤキ・ナラ・カエデ類を混交させる
カラマツ	シラカバと良く対応する

(表-2) 組合せ樹種の特徴

風致上の特徴	樹 種
新葉の美しいもの	カエデ類・ドウダンツツジ
黄葉・紅葉の美しいもの	ヤマザクラ・ナナカマド・カエデ類・ニシキギ ドウダンツツジ・ケヤキ・カツラ・トチノキ
実の美しいもの	ナナカマド・ニシキギ・マユミ・アキグミ・ ムラサキシキブ・ガマズミ・

注： (財)日本緑化センター刊
「森林利用高度化対策事業総論編」より抜粋

アゲハ舞う環境に
サンショウウを植樹
西根で岩手営林署
岩手営林署(矢内正克署長)の植樹祭は、二十三日午前十時半から西根町の岩手山・焼走り谷岩流そばの山林で、招待者ら二百人が参加して行われ、サンショウウなどを植えた。



懸命に植樹と取り組む森林愛護少年団の団員ら

森が祝辞を述べた後、早速、それぞれ盾ぐわを手に、植樹した。植樹には西根町沢川森林愛護少年団員十二人も加わり、眼前にそびえ立つ岩手山と焼走り谷岩流を仰ぎながら、懸命にくわを振るった。同署では、従来杉や唐松などを主体に植えてきたが、今回は環境美化を目的に詩人・宮沢賢治の「鎧岩流」の詩碑が建っている八十七年生の赤松自然林に同署管内の山林で採取したヤマツツシ百八十本、ナナカマド、サンショウ

各五十本など、合わせて約三百本を植えた。中でもサンショウウはアゲハチョウウの幼虫が好んで葉を食べる樹種であり「幼木ながら今夏にも多くのアゲハチョウウが見られるのではないか」と期待を込めている。



「大きく育て」と植樹する自然愛護少年団員たち

「緑の大地」へ願い込めて

岩手町 町 町 カエデや桜など植樹

岩手町愛宕下、岩手営林署(矢内正克署長)の植樹祭は、二十三日午前十時から同町子抱の子抱風景林で、田山幸平町長、一般町民、子抱山自然愛護少年団、丹藤川自然愛護少年団など、約二百人が参加して開かれた。「緑の大地・夢ある国土」をテーマに、参加者たちは五年生のオオヤマザクラ二百本、カエデ、ツツシ各四十本の合わせて二百八十本

を植えた。

自然愛護少年団員たちも大人たちの手ほどきを受けながら、枯れ草を取り払ったり、添え木を立てるなど、自然とふれあいながら植樹した。

子抱風景林は、標高三三二メートル。頂上はあすま屋もある展望台で、沼宮内地区が一望できる町民憩いの場として親しまれている。遊歩道や公認オリエンテーリングコースも設けられており、一帯は御旗松といわれる赤松林が広がる。

矢内署長は「将来、花見の楽しめる桜の名所にした」と話していた。